

# スポーツの調査

21711380 山口裕也

21711059 岩渕匡太

21711221 高橋歩夢

# 目的

- スポーツのイメージをSD法により測定し因子分析を行う

# 方法

- 10の対象を用意し、18の形容詞対で評価した。
- 大学生30人に聞いた。

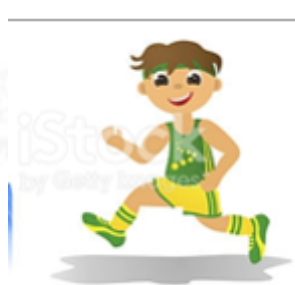
# 对象



# 結果 因子負荷量行列

第1因子	第2因子	第3因子
-0.97	-0.07	-0.17
-0.97	-0.12	-0.15
-0.74	-0.29	-0.37
-0.25	-0.61	-0.63
-0.73	0.02	-0.59
-0.75	0.01	-0.48
-0.30	-0.92	-0.13
-0.38	-0.21	-0.85
-0.65	-0.28	-0.41
0.09	-0.91	-0.09

• 第一因子



俊敏系

▪ 第二因子



瞬発系

▪ 第三因子



持久系

# 考察

- 因子分析の結果三つの因子が抽出され、
- 敏捷系、瞬発系、持久系と命名した。
- 見た目が派手な球技がまとまると思ったが、第一因子では走る、蹴るなどといった敏捷性が必要な競技が抽出され、第二因子では、柔道、剣道といった一瞬で勝負がつく瞬発系、第三因子では長時間行う持久系の競技が抽出された。水球が第一と第二、第三でも抽出されたのが予想外であった。
- 人によって競技に対する見方が違うということが考えられる。